

必ず道は開けます！
あなたの力ならばどんな障害も乗り越えられます。いつも応援しています。

%company%
%free1%
%free2%
%name_sama%

◆中小企業経営者列伝、第12弾。4回シリーズ

従業員の半分に辞められ倒産危機！からのV字回復！！
創業97年、高校中退社長のリアル雑草魂奮戦記

松本建設 株式会社
代表取締役 松本 敬介氏

- 【済】◆第1回 青天の霹靂！お小遣いがもらえない
- 【済】◆第2回 狙われた会社！宿り木社長の仕掛けた罠
- ◆第3回 労働争議発生！新たな火種が火を噴いた
- ◆第4回 V字回復達成！！新たな地平を求めて

~~~~~

- ◆第3回 労働争議発生！新たな火種が火を噴いた

ある日社長室に呼ばれ  
「社長が借金を残して逃げた、もうこの会社はダメかもしれない…」  
と母に打ち明けられ  
「会社は絶対潰さない！」  
と宣言しスイッチが入ったころまで時は遡ります。

このことは一族の間で大騒ぎとなり、祖父の耳にも入ったのですが  
前号でお話したように経営に意欲を失っていた祖父は  
驚くべきことに会社をたたむことを決意し

もともと会社を3,4社やっていた知人の70歳代後半の経営者で、  
優秀であるとの触れ込みの人材をスカウトしてきて

整理人の役割で「副社長」として会社に入れました。

代表取締役には母が就任しましたが、  
祖父の思惑としては実質の経営者というか、権限を持った破産管財人“的”な役割です。  
株を渡して、「出来るだけ高く処分すればお前も儲かるだろ」  
という思惑だったようです。

その副社長は前評判の通り優秀なところもあって

前社長の失踪騒動で従業員数が半減したうちに  
汚職談合事件の影響で県内トップの土木会社を退職してうちに入ってきた  
優秀で、その上私とは歳の差がある、年配の従業員たちに睨みを効かし  
会社を立て直していく過程で手腕を発揮してくれました。

「名門土木会社として名前もあるのだから、潰すのはもったいないよ」  
と言って再建を支持してくれたことにも感謝しています。

しかし私は最初にあった時から  
言葉の端々に、権力をちらつかせる様が気に食わなかったのですが  
案の定その後の彼の行動は、実績による評価を覆すくらい酷かったのです。

睨みを効かすレベルに留まらず、  
もはや完全にパワハラに該当するような行為を、日常的に繰り返す存在になったんです。

陣頭指揮で細かく指示を出し、公用、私用に渡り人をこき使うのが好きで  
事あるごとに従業員を何時間も怒鳴り散らし  
権威で人をコントロールしようとするし  
昭和のやり方(上意下達・指示に従え)の悪いところだけを集めたような人でしたね。

例えば、事務員に対して朝から会社の庭木を剪定させ  
お昼ご飯を食べたら、その事務員を副社長室に呼びつけて  
なんで勝手なことをするんだと2時間も怒鳴りつけ  
その日の夕方その事務員は退職届を出したこともありました。

「常務も会社のみみんなも好きでこの会社の事も大好きですが  
あの副社長だけはダメです。もう耐えられません。限界です。」  
と言って辞めて行きました。  
その事務員は可哀そうに、内勤で会社にずっといるので被害に遭う機会が多かったんです。  
副社長は痴呆も入っていたんだと思います。ちょっと異常でした。

そんな理不尽極まりないことが普段にあるため、  
捕まると長くなるし、従業員は出来るだけ直行直帰をするようになり  
会社に寄り付かなくなってしまいました。

それに加えて“金銭にも汚い”ところがあり  
病院の領収書や交通違反の罰金はまだかわいい方で、  
自宅の固定資産税を経費で請求したり  
拳句の果ては勝手にベンツを購入し、支払いを会社に回してきました。

当時私は常務で、対外的なお付き合いや接待も多く経費をかなり使っていたので  
「あいつが使うなら俺も」と言っていました。

公共事業が仕事ですからちゃんと営業をやっていれば売上は安定的に入ってきます。  
「会社の節税に協力してやっている」というぐらいの意識だったかもしれません。  
当初整理人の役割で会社に入ってきたので  
なんでもできるという“全能感”を持っていたというか  
全部の権限を持っているつもりだったんでしょうね。

でも公共事業を受注するためには「経審」と言われる  
公共工事を直接請け負おうとする建設業者が必ず受けなければならない審査があり  
決められた割合以上の流動資産を会社で保有していなければならないなど  
決算書上は利益を出して健全性を保っていないといけないのです。

そういう業界事情を理解しようとする姿勢も皆無で、現場からは嫌われていました。

そんな状態ですから従業員が次々に辞めていきました。  
この時も最終的に半分くらい辞めたと思います。  
やっとな社長失踪騒動前ぐらいまで会社を持ち直せたかというのに  
この体たらくです。

わたしは兆候が出始めたころから「ヤバイ」と思い、若手職人たちと話をすることに決め、  
彼らを飲みにつれていき、彼らに心からの言葉を投げかけ  
パワハラを受けて落ち込んでいる従業員に対しての心のケアをしたり

こまめに現場を回り、監督をやっている年配の従業員をねぎらい  
愚痴を聞いてあげるなど、モチベーション管理に努めました。

また副社長の経営的な指示も、常務権限で理不尽なことはすべて無視し  
勝手にこちらで決定して指示し直していました。

そのため副社長にはよく呼び出され  
「なぜ言う事を聞かないんだ、仲間外れにするな」と怒鳴られましたが  
会社を良くしたい一心で行動していました。

そうこうしているうちに 2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分東北大震災が発生し  
その時の副社長の対応が酷いものでした。

本来であればそんな時こそ陣頭に立ち、会社を守るために尽力すべきタイミングです。  
震災明け状況が少し収まってくるころには  
全従業員一丸となって会社のために地域のために、そしてお国のために奮闘しました。

そんな中、副社長は震災直後に家族で大阪まで逃げ、3 ヶ月近くも会社に出てこなかったんで  
す。  
これが決定打になりました。

副社長が出社して来てしばらくたったころ、  
うちのすべての事業部「総務部」「建築部」「土木部」のトップ 3 人が  
雁首を並べて私のところに来て

「副社長を辞めさせてくれなければ、私たち全従業員が辞めます」  
と言うのです。

私は即断し、「ちょっと待っている」と言ってその足で副社長のところに行き  
誠を宣言しました。

もちろん喧嘩です。形式上での権限もないわけですし  
それから 1 週間大揉めに揉めましたが  
会社を守るために私も一歩も引きませんでした。

結局まとまったお金を渡し、  
祖父が譲渡していた会社の株も 3 倍以上の金額で買い戻し、  
ようやく退職の同意を取り付けました。

その後も本人だけでなく奥さんからも  
愚痴ともクレームともつかない電話がしばらく掛かってきましたが取り合いませんでした。

ま、大変な目に遭ったんですが、  
当初は従業員から評判が良くなかった私にとって

従業員を一生懸命ケアしたり、会社のために副社長と戦ったり  
副社長が敵対する共通の敵になってくれたことによって私のイメージが良くなり

私を従業員が信用するようになってくれた効果があったんだと思います。

実際その後、全社一丸となることができ  
奇跡のV字回復を果たすことができたのです。

今回はそのお話をさせていただきます。

いかがだったでしょうか？  
楽しんでいただけましたか？

今回は

◆中小企業経営者列伝、第12弾。

従業員の半分に辞められ倒産危機！からのV字回復！！  
創業97年、高校中退社長のリアル雑草魂奮戦記

松本建設 株式会社 代表 松本 敬介氏

◆最終回 V字回復達成！！新たな地平を求めて

をお届けいたしますので、楽しみにしててくださいね。  
それでは次回、またお会いしましょう。

著者：(株)I&C・HosBiz センター  
編集長：岩下 一智 MRC

~~~~~  
■参考図書■Amazon 電子書籍

渋沢栄一翁の 合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~  
本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

[heart\\_gaia\\_gi@hosbiz.net](mailto:heart_gaia_gi@hosbiz.net)

## 「オポティニティ・ZOOM セミナー」

竜一寸にして天をうかがう！！

今は小規模企業であるが

【売上高:10億円以上・従業員:20名】越えを目指す社長にお勧めです。

経営者自らも「ワクワク」して企業経営を実戦し、

従業員をはじめとするステークホルダーだけでなく

「地域にも貢献する」経営を構築する方法についてお話いたします。

### ■テーマ：

自分の「夢とビジョン」を、企業経営をとおして実現したい経営者をサポート

#### ①「成長力と収益力」をつけるための「3つのポイント」

\*50年間500社の経験知から、貴社の体質に合った対策案を伴走型で支援・実現します

#### ②「伴走型経営支援」の実戦例＝コロナ禍4年間の赤字から、

中小企業への「進化・発展・持続」の道を前進中の印刷業

#### ③「理念経営道」の経営計画の策定と実戦のポイント

\*50年後・100年後・300年後をめざして

### ■参加費：無料

■日時：24年07月08日(月) 16:00~17:30

\*お申込みは「 <https://reserva.be/hosbizcenter>」にて

~~~~~  
バックナンバーは下記の URL を確認してください。

https://rinenkeieishi.net/mail_magazine/hayabusa.php

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を  
よろしく申し上げます。

次回、第653号は

◆中小企業経営者列伝、第12弾。

従業員の半分に辞められ倒産危機！からのV字回復！！

松本建設 株式会社 代表 松本 敬介氏

◆最終回 V 字回復達成！！新たな地平を求めて

を 24・6・7(金)にお届けいたしますので、  
楽しみにしててくださいね。

なお内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、  
私たちは「世のため・人のため」になれない。  
とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50 年の経営支援家人生の集大成 第 1 弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。  
では、また次号で元気にお会いしましょう！

---

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・岩下一智・(株)I&C・HosBiz センター 執行役員  
マーケット・クリエイター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

\*お問い合わせは「<https://rinenkeieishi.net/contact/form.php>」まで

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu\_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

